

歴史の道をゆく

the history of road ① 亀田街道

亀田街道は刈野(西仙北町)と松ヶ崎(本荘市)を結んだ道で、山利街道、刈野街道などとも呼ばれた。一期は亀田藩の岩城氏が参勤交代に利用した「殿様道」であり、江戸時代全体を通じて見れば、年貢米や山利海岸でつくられた塩などの輸送や、各村の人々の生活道路・交易道路として重要な道だったといわれる。

この街道には駒嶋峠越えと山中地蔵越え、松山峠越えの3ルートがあって、山中地蔵越えルートは、途中でさらに2コースに分かれていた。厳密には松ヶ崎の羽州浜街道との分岐までが亀田街道だが、今回は亀田城下までを辿ることにしよう。

刈野本町から堂伝野
刈野本町の武家屋敷町を抜けた羽州街道が現在の国道13号と出会う辺りから、亀田街道が西に分岐していた。分岐点近くの羽州街道の両側に、追分の一里塚があったと江戸時代の記録にある。しかし、この付近の羽州街道は雄物川の洪水で何度か飲み込まれたといわれ、本来の道筋も一里塚の正確な位置も今は確認できない。

現国道の刈野下町バス停近くに酒屋があり、その脇を辿って雄物川にぶつかる細道が、亀田街道の道筋だったという。雄物川は舟渡して、渡河地点付近に北野目口御番所があった。その位置は江戸期の絵図でも時代によって、右岸だったり左岸だった

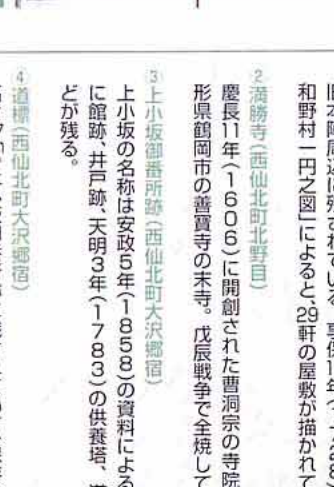
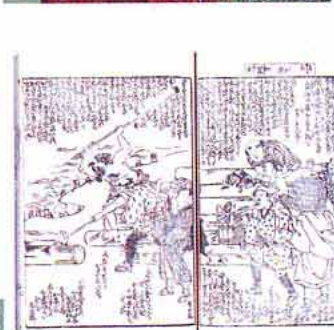
り移動している。

対岸の北野目村も、かつては満勝寺の南東にあったのが、洪水で53戸が全戸水没し、寺の西側に移ったと伝えられる。街道は進行方向に向かい、現在の道路の左手後方から斜めに満勝寺前に出ていた。少し先の道筋左手に庚申塔と地蔵堂。少し進んで国道から左に分かれて田圃に飲み込まれ、堂伝野の旧大沢郷小学校付近で町道に重なった後、県道に合流する。

堂伝野から大沢郷

赤坂稲荷神社のところで現道は高城へ右折する道と大沢郷に向かう道に分かれるが、亀田街道はそのどちらでもなく、二本の道の中間となる神社裏手の目立たない細道である。社域を時計の逆回りに巻いて進む。一部敷が生えているものの、U字型の溝のような、比較的歩き易い道だ。

溝のようになってるのは同地方の複雑な境界争いの歴史を反映したもので、わざと深く掘り込んだ道筋にして、境界を誤魔化したり放牧馬が越境するのを防ぐ意味があったと聞いた。そのためひと雨降れば水路と化し、雪解けも遅くて、江戸時代に



この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の1/200,000地形図を複製したものです。(承認番号 平12東地第583号)

春光の道開けもひと苦労だったらしい。この道の左手高台に太平山神社がある。

道は間もなく現在の村道に合流。やがて秋田自動車道の西仙北サービスエリア付近で高速道路と交差し、ゴミ処分場の先100mほど、「旧亀田街道(山利街道)」の木柱があるところで左手に分岐する。町立西中学校脇の小道を進むと、歩兵第十七連隊強首兵舎跡の南側に舗装道路を横断する。少し北側に「旧陸軍兵舎跡・演習場跡」の木柱や記念碑がある。

大沢郷から萱ヶ沢

この先約1.3kmの旧街道は、西仙北町指定史跡として保存されている。途中で復元

された木の門が立ち、「御番所跡」の標柱がある。入口付近に残る四角柱の道標石は宝暦年間(1751-1764)のもので、正面に「南無阿弥陀仏」、他の三面に「東仙乏」「南矢嶋」「西本荘亀田」と刻んである。

街道南側の大沢郷宿に立ち寄って見ると、集落の外れに義民・清七の首塚である清七塚があり、地区の中心部である西仙北町大沢郷出張所前には本多正純配所跡の標柱がある。大沢郷では有志が亀田街道保存会を作り、毎年8月の亀田街道祭りや調査保存活動に取り組んでいる。

史跡指定区間を出た街道ルートは四辻から杉山田方面に向い、集落の中心部には入らず南側の小道を通っていたが、途中一部

田畑の中に消えている。釜ノ沢橋手前の角の藪の中に、朽ちかけた石の念仏供養塔が隠れている。江戸時代には近くに茶屋があり、この供養塔も茶屋の所に立っていたという。

釜ノ沢橋を渡り、月山神社前、正手沢、堤ヶ沢を経て萱ヶ沢へ進む。この区間、現在の舗装道路と本来の旧道はしばしば重ならず、ズレているようだ。

萱ヶ沢の大台入口のバス停付近にある小さな丘が萱ヶ沢跡(館ノ越地区)である。亀田街道はここで分岐し、丘を左手にして北上すれば山中地蔵越え、松山峠越えルートになり、丘の手前を左に入り、すぐ右手奥の山裾を上って行くのが駒嶋峠越えルートである。

1 刈野の待屋敷跡(西仙北町刈野安町) 旧本陣周辺に残っている。享保13年(1728)の刈野村一円之図によると、29軒の屋敷が描かれている。

2 満勝寺(西仙北町北野目) 慶長11年(1606)に開創された曹洞宗の寺院で、山形県鶴岡市の善賢寺の末寺。戊辰戦争で全焼している。

3 上小坂御番所跡(西仙北町大沢郷) 上小坂の名称は安政5年(1850)の資料による。周囲に館跡、井戸跡、天明3年(1783)の供養塔、道標などが残る。

4 道標(西仙北町大沢郷) 高さ67cm。上小坂御番所跡に残されていて、保存のための覆いがかけられている。位置は移動しているようだ。

5 清七塚(西仙北町大沢郷) 大沢郷は矢島領で代官支配であったが、その代官の不正を幕府に直訴したため斬首された清七の供養塚。

6 本多上野介正純配所跡(西仙北町大沢郷) 宇都宮15万5千石から山利5万5千石に配流されたが固辞。その後大沢郷千石を与えられた正純の陣屋跡。

7 雄物川稲荷神社(西仙北町山田) 戊辰戦争の際、庄内藩隊と秋田藩隊の激戦地。庄内隊は雄物川を渡り稲荷(協和町)に上陸して戦った。

8 月山神社(西仙北町山田) 雄物川を望む小高い丘の上に鎮座する神社で祭神は月夜見命。かつては杉山田山堂であったが明治3年に改称。

9 萱ヶ沢跡(雄和町萱ヶ沢) 亀田街道が分岐する所に位置し、京極氏の築城と伝えられる。丘の上には京極氏の子孫が最近立てた石碑がある。

10 十辺舎一丸作(秋田県雄物川) 方巻修行の金草鞋(二十一編より)(町立角館歴史館) 江戸時代の旅ガイド。本編は鶴岡から久保田、盛岡、恐山までの旅。ここに刈野の街道風景が描かれている。

亀田街道